

千葉労災病院卒後研修プログラムにおける産業保健研修プログラム (古河電気工業株式会社千葉事業所)

I 研修プログラムの目的

研修医は研修2年目の研修期間において、産業保健研修として4週間研修を行う。職場における勤労者の健康管理・教育等および有害業務の理解と安全管理を理解し実践できることを目標とし、日医認定産業医に必要とされる全ての研修内容を履修する。

II 研修プログラム責任者

小沢 義典 (千葉労災病院 卒後臨床研修管理室長)

III 研修実施責任者

幸地 勇 (古河電気工業株式会社千葉事業所衛生管理室)

IV 教育課程

1 期間割と研修医配置予定

2年次の4週間を研修期間とし、本人の希望より研修管理室にて配置を決定する

2 到達目標および基本的研修内容

A 健康管理

- (1) 健康管理システムのあり方を理解し説明できる。
- (2) 健康診断計画に参画する。
- (3) 健康診断結果の評価方法を行え、精度管理を理解出来る。
- (4) 就業条件を考慮に入れた健康診断結果の事後措置を実践できる。
- (5) 集団としての健康レベルを評価出来る。
- (6) 企業内外の健康管理組織、健康診断委託機関の活動を理解出来る。
- (7) メンタルヘルスを理解し、実践できる。
- (8) 一次予防や疾患管理について説明できる。
- (9) 災害時の救急処置について理解し、体験する。
- (10) 労働災害、業務上疾病、労災保険について説明できる。

B 健康教育、健康増進、総括管理について

- (1) 個人の疾病予防、健康保持・増進のために健康教育に参画する。
- (2) 産業医活動に必要な倫理を理解出来る。
- (3) 産業保健活動の円滑な実施のための関連部署との連携について理解出来る。
- (4) 職場巡視を体験し意義を理解する。
- (5) 衛生委員会に参加し、意見を述べられる。
- (6) 産業医学に関する情報収集の方法を理解する。

(7) 健康増進活動を理解し実践できる。

C 有害業務・安全管理について

(1) 就業条件、作業工程、作業内容について理解できる。

(2) 作業管理の意義を理解し参画する。

(3) 有害条件をリストアップし、その評価に参画する。

(4) 作業環境測定結果と健康診断結果を関連付けて説明できる。

(5) 基本的個人保護具の目的を理解し、装着方法を体験する。

(6) 安全管理の原理と方法を理解し、専門科への協力方法を説明できる。

(7) 人間工学を理解し、実践できる。

V 学習方略 (LS)

古河電気工業株式会社千葉事業所衛生管理室および関連施設において、指導者の元に座学および実地研修を行う。勤務時間は、原則として平日（月～金曜日）7:45～16:30 あるいは8:45～17:30 とし、1時間を昼食時間とする。

VI 評価方法 (EV)

研修内容に応じた評価表に基づき、指導者が履修日付を記録する。また、研修終了時には記述試験を実施し、結果を基にフィードバックを行う。

VII 日本医師会認定産業医資格

研修履歴表は予定の研修を完了後に千葉労災病院に送付される。これを元に千葉労災病院より千葉県医師会に登録申請を行う。

令和4年1月24日 改定